

# 庁舎及び役場関連施設の 清掃費の削減について



池田 宏

## 質問

財政豊かと言っていた湯沢町であります。3年間で5億円の削減をしなければならぬ財政状態となり、町民にその皺寄せが増える事は誠に残念であります。

今後は事務事業見直しによる収入の増を計り、支出の減を厳しく実行していかねければなりません。経費の節減は事業見直しの中で検討がなされていますが、更にやらなければならぬ中に清掃費の削減があります。役場庁舎460万円、カルチャーセンター587万円、公民館289万円、ロープウェイ関係536万円等々合わせて2千922万円は膨大な金額であります。16年度予算額4千963万円に対して減額はされていますが、町民に対する皺寄せだけでなく町財政の困窮から清掃は執行部と職員で取り組むべきと思うが対応を伺います。

## 町長答弁

清掃費の削減は言われるとおりであります。15、16年と委託内容を見直して約25パーセント、金額にして1千万円の削減をし、17年度からの見直しで20パーセント、金額で600万円の削減を見込んでいます。予算執行の中で減額補正が出来ればとも思っています。いざいにしてもしも執行部と職員が共に現状の財政急迫を認識して清掃費の全額削除の体制を計れることとは最も好事であります。先頭に立つて自らの姿勢を示し、対応してゆきます。

庁舎内清掃費の削減に取り組め



内容の整理が付いた事業から着手になり、県が指摘されていた岩鼻の雪崩防止柵を実施しました。長大新芝原トンネルの開削及び17号法線改良は

## 三俣振興対策進捗状況と事業着工について

### 質問

平成14年8月8日にダム中止の説明が地元になされて以来、振興対策の検討会が行われています。国、県及び地元との対応はどのような状況か又振興策の事業着工は何時になるのか伺います。

### 町長答弁

只今国・県・町・地元との4者検討会を開き個別に事業の検討をしています。

国土交通省の一連区間の課題で調査を継続して進めています。八木沢・芝原・七谷切のカーブを含めて事故多発の解消からも努力をしてゆきます。清津川護岸整備は昨年の測量結果を基に水利模型実験の結果を3月中に湯沢砂防と4者検討協議会で意見交換をする事になっていきます。

温泉対策については国に要望をしていますが、現行法では対応が難しく長期課題となっています。道の駅については各論があります。県が足湯を街道の湯の所に作ることも含めて、街道の湯の場所が最もよく活性化に繋がる。財政難で町から持ち出す振興対策予算は2億6千600万円で作らせて頂くと地元を話しました。国土交通省湯沢対策室の廃止は書面で存続を強く要望しています。